

作成日：R7年12月2日

令和7年度第2回 高松圏域自立支援協議会 全体会議事録

日付	令和7年11月10日(月)
時間	10:00~12:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター第1・第2研修室
参加機関等	高松市医師会、香川県東讃保健福祉事務所、香川県精神保健福祉センター、障害者生活支援センターたかまつ、障害者生活支援センターあい、相談支援センターりゅううん、地域生活支援センターこだま、香川県立川部みどり園、地域活動支援センタークリマ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、香川県立高松支援学校、香川県立香川中部支援学校、香川県立香川東部支援学校、香川県立聴覚支援学校、香川大学教育学部附属特別支援学校、高松公共職業安定所(専門援助部門)、障害者就業・生活支援センター共生、障害者就業・生活支援センターオリーブ、三木町 福祉介護課、直島町住民福祉課、高松市健康づくり推進課、高松市総合教育センター、高松市障がい福祉課、香川県障害福祉相談所、一般社団法人 garyu、社会福祉法人ナザレの村、一般社団法人ええる福祉会、特定非営利活動法人 自立ケアシステム香川、一般社団法人 hito.toco、特定非営利活動法人アイルコート、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 41名参加

各部会の取り組み報告に関する質疑応答

<u>就労支援部会へ</u> 質疑⇒今年度の就労選択支援事業の現状は？ 応答⇒障がい福祉サービス事業所では白鳥、SCC、ラ・レコルトが指定を受けている。東部支援学校では3年生からスタートしている。 東部支援学校より情報提供 9月からコア会議を実施した。学校主催で現場実習を5日間実施しており、学校では、その実習でアセスメントを行っている。実習報告会の場を利用して他機関連携会議を実施した。携わった先生からアンケート調
--

議事

査を実施する予定。一連の流れをどこかの場で報告していきたい。

精神保健福祉部会へ

質疑⇒高齢者分野ヘルパー職員との研修はどれほど参加されるか？多忙な事業所が多い中で。

応答⇒もともと訪問介護事業所の連絡会があり、その会の中での研修に呼ばれていく。60、70事業所が参加されている。

知的障害者支援部会へ

質疑⇒参加されている当事者はどのように選定されたのか？

応答⇒積極的に発言を促したいので、部会員と関係ができていの方に声をかけた。来年度は8名に声をかけていく予定。

意見⇒当事者の声を拾っていく活動が大事だと感じるので、どんどん広げていけると良いのではないかな。

こども部会へ

意見⇒本校ではサービス担当者会議に積極的に参加している。小学校との連携をもう少し密に出来たら良いのではないかな？と感じたケースがあった。

応答⇒教育現場と部会も今後も連携していきたい。2月の連絡会で高松市総合教育センターに講師をしていただく予定。

居宅サービス事業所部会へ

意見⇒きょたくん通信の周知をどんどんしていければ良いのではないかな。協議会のHPにも記載されているか？研修の参加率を上げる方法としては、行政は他県の取り組みを取り入れたりする。

応答⇒HPに乗せていく。きょたくん通信はリハセンターの就労選択支援事業の利用者が作成した。

グループホーム部会へ

意見⇒地域連携推進会議は、どのようにされているか？

応答⇒地域と結びつきが薄い事業所が困っている印象があり、地域から関りを持ちたくないと言われたりした事業所もあったと聞いている。事業所ごとで差異がある。

事務局へ

質疑⇒医ケア部会が閉じて連絡会になると報告があったが協議会の中で活動の報告などが上がるか？

応答⇒来年度の形は検討中である。

意見⇒30代、重度知的、てんかんあり。これまでは母が診ていたが認知症になり施設に入所することになり、本人への支援は週3回のヘルパーの支援のみになっている。服薬も不十分であるが、本

	<p>人と兄弟が折り合いが悪く、その兄弟を通さないといけないためスムーズに支援が入れない。本人は成人しているのに、こういう状況を打開できないか？</p> <p>応答⇒本人が成人である以上、家族の意向もあるが本人の意向を中心とするべきである。相談支援専門員を中心に支援を構築していく必要がある。</p> <p>意見⇒本人を施設入所させるにはどうしたらよいか？</p> <p>応答⇒今の時点で虐待防止センターへの通報を急ぐべきではないか？</p> <p>応答⇒服薬の管理については訪問看護を利用できないか？施設入所については相談支援専門員に入所の相談するのはどうか？</p> <p>応答⇒虐待通報であれば市長が対応する。今後の生活を考えるのは相談支援専門員になる。成年後見制度を利用するのも必要ではないか？</p>
--	---

<p>香川県自立支援協議会より報告</p>	
<p>議事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域マネージャーから報告 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の初任者研修25名が参加している。 ○運営部会から報告 <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度までに各市町に基幹センターの設置を目指して、今年度も基幹設置研修を開催したが来年度も研修を実施する予定。 ・医療的ケア児等総合支援事業について ソダテルが窓口になり県下に7事業所がある。 ○地域移行部会から報告 <ul style="list-style-type: none"> ・年4回部会を開催した。各圏域の情報共有。相談支援専門員不足、受け入れ事業所も少ないため、あまり進んでいない。 ・施設利用者に地域移行の意思確認を実施する。家族にも分かりやすいチラシを作成している。 ○権利擁護部会から報告 <ul style="list-style-type: none"> ・高松市より2事例、三木町1事例を共有した。好事例を収集していく必要を感じた。日常生活自立支援事業から後見制度に移行された方が多い。